

Giuseppe Verdi

UN BALLO IN MASCHERA

第13回新宿区民オペラ

仮面舞踏会

UN BALLO IN MASCHERA

作曲 G・ヴェルディ

台本 A・ソンマ

3幕5場原語上演・日本語字幕付

指揮:宮松重紀

演出:園江 治

8月11日出演

リッカルド/土本訓久

アメリア/廣田美穂

レナート/藤田幸士

オスカル/佐藤泰子

ウルリカ/杉野麻美

シルヴァーノ/仁上智弘

サミュエル/大澤恒夫

トム/石井一也

判事・召使/丘山哲哉

8月12日出演

リッカルド/狩野 武

アメリア/渡海千津子

レナート/須藤慎吾

オスカル/鷺尾麻衣

ウルリカ/丸山奈津美

シルヴァーノ/山村秋虎

サミュエル/金子亮平

トム/相沢 創

判事・召使/山内政幸

合唱:新宿オペラ合唱団

演奏:新宿オペラ管弦楽団

主催:新宿区民オペラ 後援:新宿区・(株)新宿区新聞社

2007. 8

11

土

開場5:30

開演6:00

12

日

開場1:30

開演2:00

杉並公会堂・大ホール

全席自由 ¥5,000

前売り:新宿区民オペラ事務局 tel/fax.03-3952-7894

チケットぴあ tel.0570-02-9990

会場:杉並公会堂tel.03-3220-0401

仮面舞踏会

UN BALLO IN MASCHERA

【第1幕1場】

イギリス植民地時代のアメリカ。ボストン総督リッカルドは優れた統治者であったが政敵に妬まれていた。リッカルドは小姓オスカルを差し出す仮面舞踏会の招待客名簿から密かに思いを寄せるアメリカの名を見つけ心ときめかせる。そこへアメリカの夫であり部下のレナートが現れる。レナートは政敵が総督の命を狙っていると注意を促す。そこへ今度は判事が現れ、人心を惑わす占い師ウルリカの追放を求めるが、オスカルの必死の弁護でリッカルドは逆にウルリカに関心を抱き、心配するレナートを押し切つてウルリカの所へ行こうと提案する。

【2場】

ウルリカの家。変装したリッカルドが訪れると、部下のシルヴァーノをウルリカが占っている。金と位がすぐに手に入るというウルリカの言葉を聞いたリッカルドは、士官に任命する辞令と金をシルヴァーノのポケットに忍ばせる。それを見つけたシルヴァーノは大喜び、人々は占いの的中に驚く。そこへアメリカの召使が現れ、ウルリカは人払いを命じる。アメリカが現れ総督リッカルドを愛してしまった、不倫の思いを消す方法を教えて欲しいと言う。郊外の死刑台に生える薬草を深夜摘めばよいと言われアメリカは退出する。物陰でそれを聞いたリッカルドは自分も死刑台に行こうと決意する。人払いされていた人々が戻り、リッカルドが占いを頼む。親しい者、そして最初に握手した者に殺されると言われたリッカルドは周囲の人々に握手を求めるが誰も応じない。そこへ総督の身を案じたレナートが現れ知らずに握手してしまう。リッカルドは笑ったが、彼の変装がばれて騒ぎになる。

【第2幕1場】

死刑台にヴェールで顔を隠したアメリカが現れる。怯える彼女の前にリッカルドが姿を現し、愛を告白する。アメリカも二重唱「ああ、何と心地よいときめきか」の中で愛していると打ち明ける。しかしそこにレナートが現れる。総督の命を狙う者達がそこ迄来ていると言ひ、リッカルドを逃がす。現れた襲撃者サミュエルとトムは総督に逃げられた腹いせに総督の愛人の正体を暴こうとする。それを阻むレナート。夫の危機にアメリカは自らヴェールを外す。レナートは妻の裏切りに愕然とし、襲撃者はレナートを嘲笑う。怒り狂ったレナートは明朝風歌に来るようサミュエルとトムに言う。

【第3幕1場】

屋敷に戻ったレナートは妻の弁明に耳を貸さず冷たく死を命じる。そこにサミュエルとトムが訪れる。レナートは陰謀を黙認する代わりに総督を殺せろと言うが2人も譲らない。結局三人の名前を書いたカードを壺に入れ、アメリカに引かせる事になる。知らずにカードを引くアメリカは喜ぶレナートにリッカルド暗殺を直感する。

【2場】

リッカルドはアメリカを諦める決心をし、レナートとアメリカを本国に帰すことにする。そこへオスカルが見知らぬ女性から手紙を差し出す。それは総督暗殺計画が「仮面舞踏会」の最中にあるという内容だった。しかし逃げる事を嫌ったリッカルドは舞踏会に出ることをオスカルにつけ、もう一度アメリカに会っておこうと決心する。

【3場】

華やかな仮面舞踏会。その会場で三人の暗殺者が現れる。レナートはオスカルから総督の扮装を聞き出す。リッカルドが会場に現れるとアメリカが近寄り、危険を知らせる。リッカルドはアメリカに本国に帰るよう言い、別れを告げる。そこへレナートが近寄りリッカルドを刺してしまう。倒れるリッカルド。仮面舞踏会の会場は騒然となるが、リッカルドはこれを創し、レナートにアメリカが潔白だと告げて検から本国への帰国と榮転を記した辞令を渡す。呆然とするレナートを尻目にリッカルドは事件の関係者の特徴を言い残し、民衆への別れの言葉を最後に息を引き取る。人々は総督リッカルドの寛大な心を讃えその冥福を祈るのだった。

指揮
宮松重紀



演出
園江治



11日出演



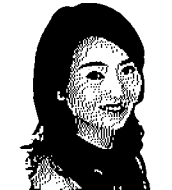
[リッカルド]
上本 訓久



[アメリカ]
廣田 美穂



[レナート]
藤田 幸士



[オスカル]
佐藤 泰子



[ウルリカ]
杉野 麻美



[シルヴァーノ]
仁上 智弘



[サミュエル]
大澤 恒夫



[トム]
石井 一也



[判事・召使]
丘山 哲哉

12日出演



[リッカルド]
狩野 武



[アメリカ]
渡海 千津子



[レナート]
須藤 慎吾



[オスカル]
鷲尾 麻衣



[ウルリカ]
丸山 奈津美



[シルヴァーノ]
山村 秋児



[サミュエル]
金子 亮平

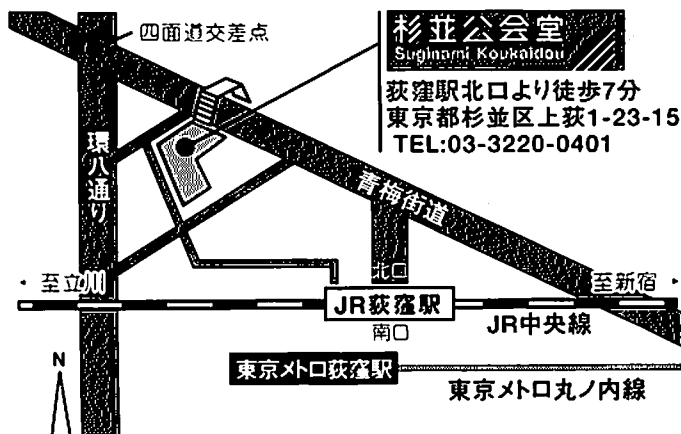


[トム]
相沢 創



[判事・召使]
山内 政幸

MAP



※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

合唱：新宿オペラ合唱団

演奏：新宿オペラ管弦楽団

【スタッフ】

副指揮：大浦智弘・久世武志・小澤和也・松井慶太

ヴォイストレーナー：西 正子

練習ピアニスト：笈沼甲子・岩崎能子・河合良一・平野裕樹子・原田園美

社交ダンス：中野踏友会

舞台美術：淡路公美子 照明：(有)日高舞台照明 衣裳：悠久堂企画室

大道具：(有)ニクステージワークス 小道具：(株)高津映画装飾

ヘアメイク：(有)アトリエプラナフォンテ

舞台監督：八木清市 演出助手：中川菊保 制作：園江詩子

宣伝美術：バク 字幕製作：満水弘之 字幕協力：(株)アルゴン社

【お問い合わせ】

新宿区民オペラ事務局 03-3952-7894 (FAXも同じ) 担当：そのえ

Web：http://www3.shinjuku-opera.com

e-mail：sonoe@shinjuku-opera.com